第61回
長岡しんきん業種別景気動向調査レポート

令和8年10月　発行

特別調査　中小企業における生成AIの利活用について

【実績】令和8年4月～令和8年9月
【予想】令和8年10月～令和9年3月

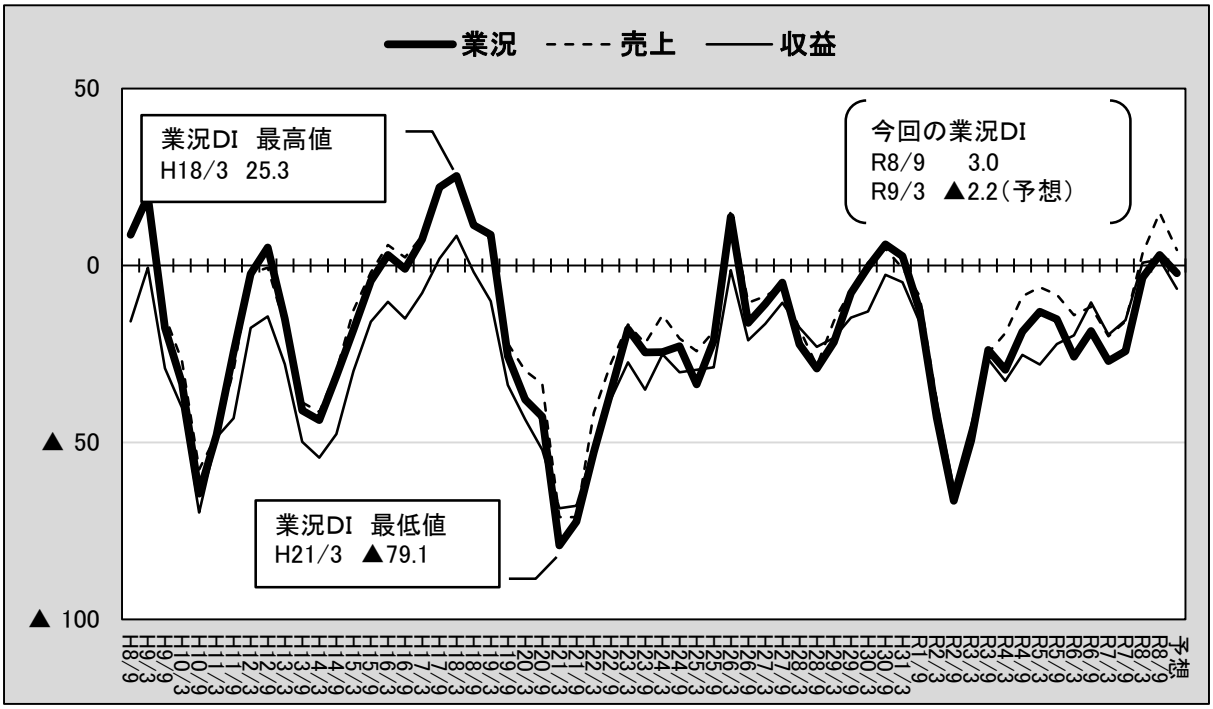
長岡信用金庫　総合企画部
TEL（0258）36-4344
https://www.shinkin.co.jp/nagaoka/

業種全体において、業況、売上は改善。
業務上で生成AIを利活用していると回答した先は42.0%
中東情勢の影響で仕入の欠品や納期遅れ等、価格面以外の支障が生じている先は68.4%

（全業種） 前回、今回、予想の比較

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 3.4	6.4 *（改善）*	3.0	−5.2 *（悪化）*	▲ 2.2
売上	3.4	11.5 *（改善）*	14.9	−10.5 *（悪化）*	4.4
仕入価格	65.3	12.2 *（悪化）*	77.5	−10.4 *（改善）*	67.1
販売価格	39.9	8.9 *（改善）*	48.8	−16.0 *（悪化）*	32.8
収益	0.8	0.9 *（横這）*	1.7	−8.3 *（悪化）*	▲ 6.6
在庫	1.8	−0.9 *（横這）*	0.9	−3.1 *（悪化）*	▲ 2.2
受注残高	▲ 3.7	15.7 *（改善）*	12.0	−11.6 *（悪化）*	0.4
資金繰り	▲ 16.2	12.7 *（改善）*	▲ 3.5	−6.2 *（悪化）*	▲ 9.7
人手	▲ 37.2	−4.0 *（悪化）*	▲ 41.2	−5.7 *（悪化）*	▲ 46.9
設備状況	▲ 9.2	−6.6 *（悪化）*	▲ 15.8	−1.0 *（悪化）*	▲ 16.8

（全業種） 主要DIの推移



（業種別） 前回、今回、予想の比較

（製造業）

業況、売上、収益ともに改善

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 7.7	34.3 *（改善）*	26.6	−6.2 *（悪化）*	20.4
売上	0.0	27.7 *（改善）*	27.7	−2.7 *（悪化）*	25.0
収益	▲ 2.2	7.7 *（改善）*	5.5	0.1 *（横這）*	5.6

（建設業）

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	9.4	−19.0 *（悪化）*	▲ 9.6	2.0 *（改善）*	▲ 7.6
売上	13.2	−13.2 *（悪化）*	0.0	−9.6 *（悪化）*	▲ 9.6
収益	15.0	−7.4 *（悪化）*	7.6	−19.1 *（悪化）*	▲ 11.5

（卸売業）

業況、売上、収益ともに改善

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 16.6	16.6 *（改善）*	0.0	−16.6 *（悪化）*	▲ 16.6
売上	▲ 11.1	38.8 *（改善）*	27.7	−44.3 *（悪化）*	▲ 16.6
収益	▲ 11.1	22.2 *（改善）*	11.1	−44.4 *（悪化）*	▲ 33.3

（小売業）

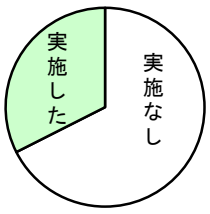
業況、売上、収益ともに改善

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 25.0	5.7 *（改善）*	▲ 19.3	−6.5 *（悪化）*	▲ 25.8
売上	▲ 15.6	15.6 *（改善）*	0.0	−22.5 *（悪化）*	▲ 22.5
収益	▲ 15.6	2.7 *（改善）*	▲ 12.9	−6.4 *（悪化）*	▲ 19.3

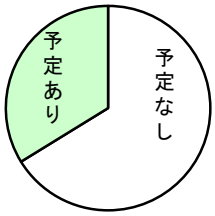
（その他）

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	13.8	−30.0 *（悪化）*	▲ 16.2	−5.4 *（悪化）*	▲ 21.6
売上	22.2	−11.4 *（悪化）*	10.8	−2.7 *（悪化）*	8.1
収益	8.3	−16.6 *（悪化）*	▲ 8.3	2.8 *（改善）*	▲ 5.5

（全業種） 設備投資の実施と予定

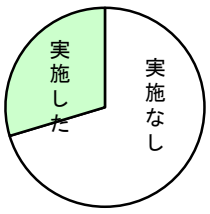


実施した
32.4%

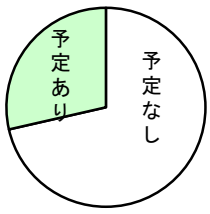


予定あり
33.7%

（全業種） 借入の実施と予定



実施した
29.6%



予定あり
28.5%

【業種別】 経営上の問題点について（上位3つまで）

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
売上の停滞、減少	12.1%	10.0%	11.2%	**13.6%**	**16.2%**	14.7%
人手不足	14.8%	12.5%	**23.9%**		12.5%	12.6%
同業者間の競争激化						
利幅の縮小						
材料価格の上昇	**15.6%**	**16.3%**	20.4%	**13.6%**		**17.8%**
人件費の増加			11.2%	11.3%	15.0%	
取引先の減少				11.3%		

【業種別】 当面の重点施策について（上位3つまで）

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
販路を広げる	18.3%	**19.9%**	15.8%	**25.6%**	16.9%	16.3%
経費を削減する	16.1%			20.5%	**25.3%**	16.3%
情報力を強化する				15.3%		**18.3%**
人材を確保する	**19.0%**	18.5%	**28.5%**		14.0%	
技術力を強化する		16.6%	14.2%			

【業種別】 調査員のコメント

【製造業】
・コロナ禍以降、低迷していた関東圏の飲食、小売業界での出店、改装需要が戻りつつある。
・この先2～3年はデータセンター用ガスタービン、半導体製造装置向け部品などの鋳物需要の高まりが期待される。
・上場企業による地元工作機メーカーの買収に伴い、地元下請企業への仕事の流れが変わり先行き不透明感あり。
・半導体、工作機需要が回復基調。一方製品納入後の取付作業に人員を割けず、外注利用せざるを得ない状況。
・中東情勢の影響で1～2カ月切削油不足による加工待ちがあったが現在は解消された。原材料高が悩み。
・中東情勢について体制に影響はない。引き続き中国関連、軍需関連の受注が好調とのこと。
・AIは時間を要する作業の時に少しずつ活用。ただAIの発展で印刷関連の仕事の減少を懸念している。
・溶解、造型の工程は熟練の判断に頼る部分も多く、若手採用難と高齢化による技術承継の属人化が課題。
・地元機械メーカーの好調で多忙。人材確保に取組みたいが経費負担大きく、外注を積極的に活用して対応中。
・新規の金型受注が低調だが、AI、データセンター関連のプラスチック製造、受注拡大は継続している。
【建設業】
・AIに不動産評価をさせて少し手を加えると、かなり正確な評価が出来上がるので驚いているとのこと。
・受注旺盛に対応すべく、板金加工を県内10社の外注先に協力要請。人手不足が深刻であり、外注先の確保とともに、早期に同業者のM&A買収も進めていきたい。
・メイン先を中心に受注確保し業況安定。代取は生成AIのセミナー参加など関心が高く、ChatGPTも有料版を利用。
・戸建て住宅建築価格の上昇に加え、住宅ローン金利も上昇傾向にあり、今後の消費者心理の動向を懸念。
・電話ボックスの撤去作業が今後7～8年間続くため、当面は切れ目なく仕事があるとのこと。
【卸売業・小売業】
・取引先への案内文等にAIを利用しており、可能ならば今後も事業に導入していきたいとのこと。
・例年8月は売上減少するが、市の商品券の利用が多く、落ち込みは最小限。ただ商品券は資金化に時間を要す。
・流通市場にコメ余りが生じ、取引価格が下落している中で梱包材などのプラスチック製品の値上げもあり利幅が減少したほか、新米の時期となり在庫を売りさばいた影響で直近利益率が減少していた。
・中東情勢の影響でビニール関係の材料が4割上がった。長雨の影響で農家が稲刈りできず仕事が少ないとのこと
・整備部門について安定した収益を確保。新車販売は軽自動車の売れ行きは好調なものの、普通車は低調気味。
【その他】
・AIの活用については膨大な資料の読込や外国人を雇用しており、外国語でのメールのやりとりに活用している。
・今年の大雪に伴う雨戸の修繕はナフサ不足から未だに終わっていないアパートがある。
・AIについてはこれから先、活用は必須であるとの見解も社内ルールの制定をどうするか大きな課題に感じている。
・運送事業は横ばいに推移しているが原油高騰で打撃。現在はリースバックにより資金繰りを図っている。
・役員会議議事録にAIを活用しているが、正確性に欠ける結果となっている。GXへの取組みを今後検討。

特別調査　「中小企業における生成AIの利活用について」

問1

貴社では、業務上で生成AI（CharGPT、Gemini、Claude、DeepSeek等）を利活用していますか。利活用している場合は主にどのような方が使っていますか。1～5の中から1つ選んでお答えください。

【利活用している】

1. 全社的に利活用	9.2%	4. 利活用していない	53.5%
2. 主に経営者（個人事業主を含む）	24.5%	5. わからない	4.3%
3. 主に従業員	8.3%		

問2

貴社では、業務上で生成AIをどのような用途で利活用していますか。また、現時点で利活用していない場合は、どのような用途での利活用に関心がありますか。下記の1～0の中から当てはまるものについて３つ以内で選んでお答えください。

1. 文章作成（メール・案内文・議事録）	24.7%	6. 採用業務の効率化（求人票作成等）	1.9%
2. 問合せ対応の効率化（チャット対応、FAQ等）	4.4%	7. データ分析（売上・顧客動向等）	14.2%
3. 販促文章の作成（SNS投稿、チラシ文面等）	8.8%	8. アイデア出し・経営戦略策定	11.2%
4. 経理事務作業の効率化（請求書の整理等）	9.8%	9. その他（　　）	3.1%
5. 社内情報検索・マニュアル化	5.3%	0. 利活用しておらず関心がない	16.1%

問3

貴社が生成AIを業務で利活用する上で、課題となる点は何ですか。もし現時点で利活用していない場合は、その理由は何ですか。以下の1～0の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。

1. 情報漏えい・セキュリティ面の不安	21.7%	6. 効果検証・運用の時間が確保できない	4.6%
2. 利用に際する社内ルールの未整備	12.5%	7. 費用対効果が不明	7.5%
3. 出力内容の正確性への不安	10.1%	8. 推進できる人材がいない	10.8%
4. 業務上での活用方法が分からない	11.3%	9. その他（　　）	0.7%
5. 操作方法・使い方への不安	8.2%	0. 特にない	12.5%

問4. 特別設問　中東情勢による影響

2026年春以降の中東情勢の混迷等により、貴社では原材料や商品等の調達（仕入れ）に際して、欠品や納期遅れ等、価格面以外での支障が生じていますか。直近（6カ月程度）の状況について1～5の中から、今後（6カ月程度）の見通しについて6～0の中から最も当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

【直近】		【今後】	
1. かなり支障が生じている	18.4%	6. かなり支障が生じる見込み	11.1%
2. 一部支障が生じている	50.0%	7. 一部支障が生じる見込み	45.3%
3. あまり支障は生じていない	21.0%	8. あまり支障は生じない見込み	29.7%
4. 特に問題なく通常どおり	6.5%	9. 特に問題なく通常どおりの見込み	6.2%
5. 該当なし・分からない	3.9%	0. 該当なし・分からない	7.5%

問5. 特別設問　中東情勢による影響

中東情勢の混迷等により、原油価格等の高騰や、原材料・商品等の調達が困難な状況が生じています。これを受けて、今後、行政に求める支援策は何ですか。以下の1～0の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。

1. 一時支援金などの給付金	10.9%	6. 省エネ・効率化の支援	4.5%
2. 資金繰り支援の拡充	8.5%	7. 情報提供・相談窓口の強化	5.1%
3. 価格転嫁の円滑化支援	13.4%	8. 買占めや不当な値上げへの監視強化	17.4%
4. 原材料・部材の調達支援	16.2%	9. その他（　　）	0.4%
5. エネルギーの安定供給・料金対策	19.6%	0. 特になし	4.0%

調査要領

調 査 時 点 ：令和8年9月
調 査 方 法 ：当金庫職員による面接聴き取りによる感触調査
対 象 期 間 ：【実績】令和8年4月～令和8年9月 【予想】令和8年10月～令和9年3月
調 査 地 域 ：当金庫営業地域（長岡市、見附市、小千谷市、南魚沼市）
調　査　先 ：228先（回収率99.5%）
分 析 方 法 ：各質問項目で「増加」（上昇）したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」（下降）したとする企業の構成比との差（判断D.I.）を中心にして分析を行った。